

日本共産党議員団の一般質問は、6月7日(金)午後の予定です。

6月議会の一般質問は6月7日(金)、10日(月)、11日(火)の3日間です。
日本共産党議員団の質問は下記の内容です。ぜひ傍聴においでください。



釘丸久子議員

6月7日(金)
午後4時頃

- 1 市長の政治姿勢について
- ア 地方自治法の「福祉の増進」について
- (ア) 日本国憲法と地方行政の関わりをどう認識し、具現化しようとしているのか。
- イ 市民サービスを向上するための職場環境整備について
- (ア) 現状と課題は何か。
- ウ 条例制定とその実効性の取り組みについて
- (ア) 現状と課題は何か。
- エ 開発行政について
- (ア) 開発団地の居住環境を維持するための対応は。



栗山香代子議員

6月7日(金)
午後3時頃

- 1 福祉行政について
- ア 難聴者対策について
- (ア) 市内公共施設における難聴者への対応と課題は。
- (イ) 磁気ループ(補聴器誘導システム)を導入してはどうか。
- イ 生活保護について
- (ア) 中間的就労支援を取り入れてはどうか。
- (イ) 生活保護基準等の変更でどのような影響があるのか。また運用はどう変わるのか。
- 2 教育行政について
- ア 体罰問題アンケートについて
- (ア) 結果と対応は。



6月の法律相談は
6月19日(水) 13時～
事前の連絡をお願いします。

6月議会の予定

6月3日(月)	議会運営委・本会議
7日(金)	一般質問(第1日)
10日(月)	一般質問(第2日)
11日(火)	一般質問(第3日)
13日(木)	総務企画常任委員会
14日(金)	市民福祉常任委員会
17日(月)	環境教育常任委員会
18日(火)	都市経済常任委員会
25日(火)	議会運営委・本会議
いずれも9時開会	
ぜひ、傍聴においでください。	

厚木に「原発問題を考える会」が発足

5月25日、厚木市総合福祉センターで「原発をすることから始めよう学習会『核のゴミ』」が開催され、学習会後、(仮称)「原発問題を考える会」が発足しました。

「核のゴミ」の講演をしたのは、市内森の里在住の牛草俊夫さん。原発を稼働することで、低レベルにしろ高レベルにしろ放射性廃棄物が発生すること、現在の原発が抱える問題点を①安全性をクリアーできない、②一度事故が起きると、その現場に人間が近寄れず収束の見極めがつかない、③核のゴミを低レベルにしてガラス固体化し、地中深く埋めるがその場所がないなど、わかりやすく話してくれました。

原発の課題として次の13点をあげました。

- ①再稼働の安全性の基準
- ②核のゴミの処理をどうするのか
- ③核燃料サイクルの今後は
- ④高レベル廃棄物の収納場所は
- ⑤膨大な汚染水の処理は

⑥廃炉 福島原発廃炉の工程をつくったが、現状がわからないので何が起きるか不明。10兆円もかかる

⑦除染をどこまでやるのか

⑧瓦礫の処理は

⑨賠償の問題

⑩故郷への帰還は

⑪検査体制

⑫原発輸出



⑬近隣国の原発の状況

最後に、大江健三郎さんの「もし、本当によくわからないことや、危険があるかわかっているときは、人はその道を選択すべきではない」の言葉を紹介しました。

その後呼びかけ人のあいさつです。

講演をした牛草さんは「原発事故の影響は、孫の代まで行かないと分からない。孫のことを考えて行動しよう」。せいきょうあつき診療所事務長の柳川浩之さん(長谷川倫雄所長の代理)は、「地域丸ごと健康づくりを目指している医療生協として、

被曝の問題を考えていきたい」。原発パレード実行委員会の山本幸子さんは「3・11以前は原発には関心が高かった。4人の孫がいるが私たちの世代で見過しては申し訳ない。自分につながる命を大切にするためにも、知恵と少しの勇気をもって行動しよう」と呼びかけました。

会の名称について「原発問題を考える会」との提案に、「『厚木』を入れていこう」「原発反対をはっきり示す名称を」「多くの人に参加してもらいために『反対』などの文言はいらない」などの意見が出ました。当面は提案通りの名称にしており、検討を続けていくことになりました。

会の共同代表として、牛草さん、長谷川さん、事務局として山本さんを決め、さらに充実していくことに決まりました。

今後は原発問題を多くの市民に知ってもらうために、活動をしていくことを確認して散会しました。